

当社Webサイトのご紹介

IRサイトが「個人投資家の皆さまへ」の開設でさらに使いやすくなりました。ぜひご覧ください。



▶ 例えばケアネットについて詳しく知りたいとき…

「個人投資家の皆さまへ」の用途別のコンテンツを使えば、知りたい情報へより簡単にアクセスできます。



<http://www.carenet.co.jp/ir/>

または、 で検索ください。



このたびの東日本大震災により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

皆さまの安全と1日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

皆さまの安全と1日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

ケアネットでは被災地支援のため、僅かながらではございますが義援金を供出いたしました。また当期は売上の一部を供出する予定であります。株主の皆さまにおかれましては、当社の業績が大変厳しい状況下、成長へ向けるべき資金の一部を義援金として供出することにご理解を賜り、お許しいただけますようお願い申し上げます。

この震災に対しては、ケアネットはいち早く被災地の支援活動に取り組んでまいりました。

まず、震災直後より当社運営の医療従事者専用サイト「ケアネット・ドットコム」に震災に関連する医療情報を集約した特設サイトを開設し、被災地で奮闘する医療従事者の方々に役立つ情報を提供するとともに、こうした方々へ被災地の外にいる医療従事者からも情報面でバックアップできるようなサポートを行いました。また、被災地の医療従事者の方々を中心に、医薬品検索アプリ「DrugOn MD」を5月末までの限定で無料開放し、多くの医療従事者の方々にダウンロードしていただき活用され

株主の皆さまへ

ました。これらの取り組みのほか、被災地での総合診療を支援するために、日本プライマリ・ケア連合学会が行ったiPadの無償配布にケアネットも協力し、必要なアプリケーションを提供いたしました。

今後も引き続き、ケアネットは、被災地復興のための支援活動に取り組んでまいりたいと考えております。また、同時に今回の非常事態で、ケアネットが日々行っている「医療従事者の方々への医療・医薬情報の提供」というケアネットの事業モットーの大切さを再認識いたしました。ケアネットは、非常に大きな社会的使命を持った企業であり、この使命に日々誠実に向き合うことで、今以上に社会に大きく貢献し続けられる企業に成長していけるとあらためて自信を持ちました。

どうか株主の皆さまにはより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

大野 元泰

今後の成長に向けての 新たな取り組み

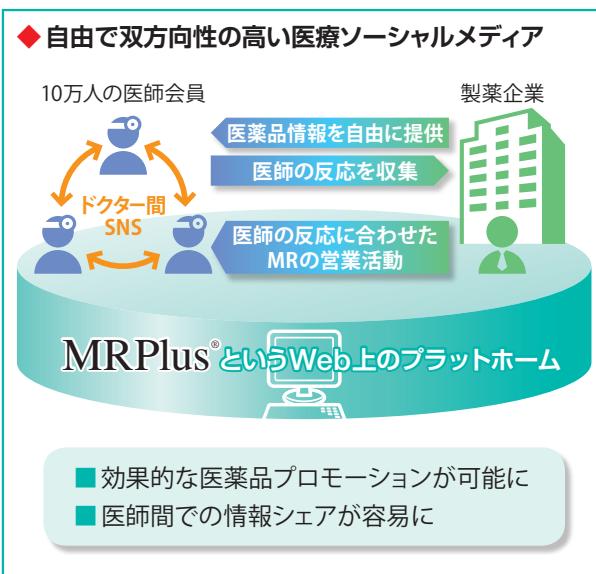
2つの新サービスを投入

ケアネットが当期に投入する新サービスは、ひとつは製薬企業向けに、もうひとつは病院向けに提供するサービスであります。これらいずれのサービスも各ユーザーが抱える問題をケアネットが得意とするアプローチにより解

決を図るサービスであります。具体的なサービスの内容については次に記載のとおりであります。この2つの新サービスにより、市場シェアの拡大を図り、医薬・医療業界において影響力のある企業として成長してまいります。

1 新サービス「MRPlus®(エムアールプラス)」

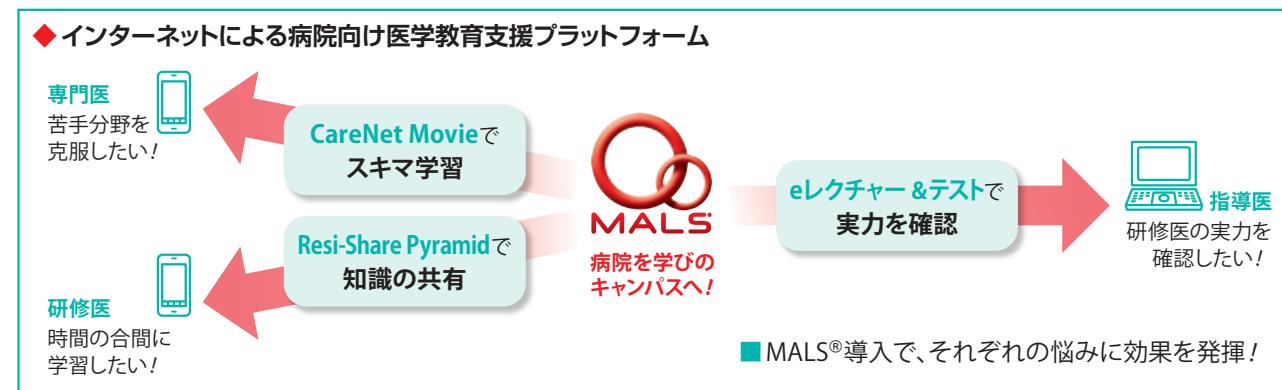
当期に投入した新サービスの1つ目は、製薬企業のためのサービス「MRPlus®(エムアールプラス)」であります。これはケアネットに登録する10万人の医師会員と製薬企業を「MRPlus®」というWeb上のプラットフォームで結び、相互のコミュニケーションを図ることで、製薬企業の営業活動をサポートするサービスとなっております。医薬品情報を医師会員に提供し、医師の反応を収集することで、実際のMR(製薬企業の医薬情報担当者)の営業活動の一部を補うことができるため、製薬企業にとって非常にメリットの大きいサービスであると考えております。ケアネットはこの新サービス「MRPlus®」の投入により、従来のeディテリングの売上高を超え成長させていくことを目論んでおります。



2 新サービス「MALS®(マルス)」

2つ目の新サービスは2010年3月期にもご報告した、病院向けのeラーニングシステム「MALS®(マルス)」であります。これは、大規模な大学病院や地域の中核病院に勤務する、多忙な勤務医に対してeラーニングサービスを

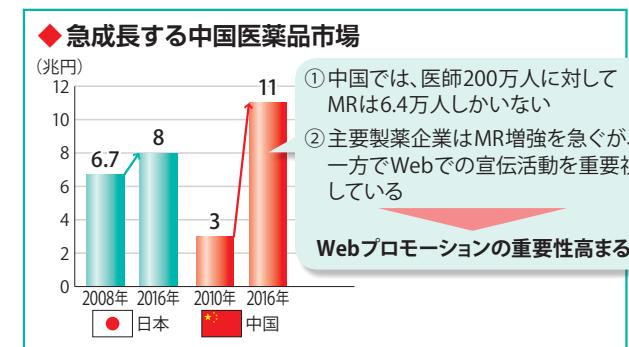
提供するものであり、すでに前期より試行を始め、現在は大病院を中心に営業活動を行っており、早期に売上拡大を図っていく目論見であります。



急成長する中国市場での事業化を加速

中国の医薬品市場は、2010年度は3兆円規模ですが、5年後の2016年度には11兆円規模になることが予測されております。いま世界中の製薬企業が流れ込もうとしている中国の医薬品市場は、大きな構造上の問題があります。総数200万人を超える医師に対して、製薬企業の営業MRは6.4万人といわれ、これは医師31人にMR1人という割合で、医師5人にMR1人という日本市場と比べて、中国市場ではMRが圧倒的に不足しております。私たちは、このようにMRが不足している中国の現状から、有効な医薬プロモーションとしてインターネットがマーケティングの主役となることは間違いない

と考えております。こうした市場背景を踏まえて、ケアネットは来年度に向けて中国での事業化を加速させてまいります。



ケアネットと業務・資本提携の関係にあるケアネット・イノベーション投資事業有限責任組合(以下「CNI投資組合」)の無限責任組合員である株式会社ミレニアムパートナーズ代表 秦 充洋氏からお話を伺いました。

CNI投資組合の目的は、 事業のさらなる成長を果たし、 ケアネットの企業価値向上を 実現することです。

秦 充洋氏
株式会社ミレニアムパートナーズ代表
株式会社ケアネット 取締役



Profile

一橋大学商学部卒
グロービス経営大学院講師
(株)ポストンコンサルティンググループ(BCG)を経て
1996年 (株)ケアネットを共同創業
その後他のベンチャー企業経営、
ベンチャーキャピタル顧問等を歴任
2002年 BCG(再)を経て
2006年 ミレニアムパートナーズを設立

■ ケアネット株を保有する理由

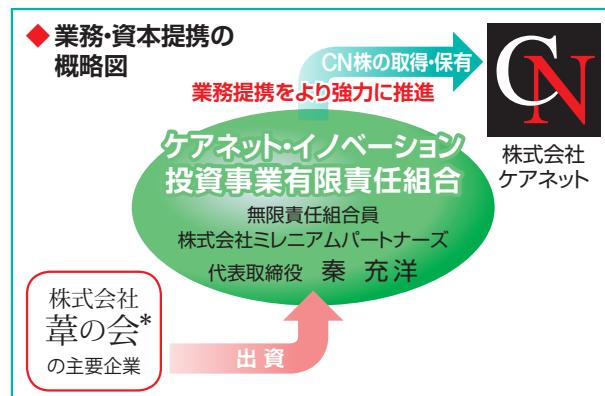
CNI投資組合は、ケアネットが業務提携を結んでいる株式会社葦の会を構成する主要な医薬卸企業を中心に、出資しています。医薬・医療業界に貢献するというケアネットの事業は非常に魅力的であり、社会環境や市場ニーズからも今後の成長が大いに期待できると感じています。そのため、出資企業へのリターンも必要ですが、業務提携という結びつきをさらに強化し、相互にメリットのある関係を作り上げていきたいと考えています。ケアネットの持つ可能性をもっと活かしたい——そうした思いがケアネットの株式を保有する最大の理由です。

■ 長期的視野で企業価値の向上を目指す

ケアネットの事業の可能性を最大限に活かし、企業価値を向上させることが重要です。事業内容において社会的に高い評価をいただき、その評価が株価にも反映されていくことを目指しています。そのため業務・資本提携なので、他の投資ファンドによくあるような短期的に利益を上げたら関係が切れてしまうことは考えていません。長期的視野で、ケアネットの事業育成を考えています。

■ 個人株主の皆さまへ

ケアネットはいま、さらなる成長に向けてアクセルを踏み出しています。当期に新商品を投入いたしますが、葦の会グループ企業の協力のもと、新商品の販売力を強化し、ケアネットのバリューアップを実現していきます。創業者ということで私も個人株主の一人ですが、株主としてケアネットの事業の社会的意義を高く評価しています。どうか皆さまには長い目でケアネットを見守っていただきたいと思っています。



*「株式会社 葦の会」医療の向上への貢献を目的として、2005年に医薬品卸関連企業9社によって設立。

株主の皆さまから多く寄せられるご質問にお答えいたします。

Q1 当期(2012年3月期)の業績について、どのような見通しを持っていますか?

A1 前々期から2期にわたって業績の低迷が続きましたが、当期につきましては特集でも解説させていただきましたように、既存商品の強化と市場ニーズに応える新商品の投入により、収益体質を向上させ、黒字への転換を図ります。

Q2 株主配当は今後どうなるのでしょうか?

A2 現在は見送らせていただいている配当につきましても、当期以降の業績回復とともに、収益や事業への投資を勘案し、配当を実行していく予定であります。株主の皆さまには、いましばらくのご猶予をお願い申し上げます。

Q3 株式評価、企業評価についてはどのように考えているのでしょうか?

A3 ケアネットは、10万人を超える医師会員等々の、大きなビジネスポテンシャルを収益に変えていき、企業価値をより向上させるとともに株価にも反映させてまいります。また、医療・医薬の情報提供という、ケアネットのビジネスそのものが社会に貢献するものであることから、ケアネットをもっと大きくして、より大きな社会貢献を果たしていきたいと考えております。

Q4 どのような株主優待を行っているのでしょうか?

A4 株式会社保健同人社が運営する「こことからだの無料相談」を、ケアネット株主様に2011年7月1日から2011年12月31日まで無償で提供いたします。これは電話で健康相談が受けられるサービスで、心身両面からの多様な相談を受け付けており、それぞれの専門家がお答えするものです。

◆ 貸借対照表(要約)

(単位:千円)

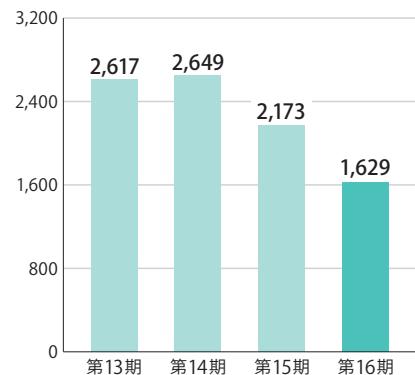
科目	2011年3月期 (2011年3月31日現在)	2010年3月期 (2010年3月31日現在)
〈資産の部〉		
流動資産	1,453,051	2,097,460
現金及び預金	1,250,880	1,702,521
売掛金	146,134	322,710
たな卸資産	21,364	52,035
前払費用	21,149	13,946
その他	13,521	6,246
固定資産	370,165	188,702
有形固定資産	47,302	24,073
無形固定資産	210,092	112,584
投資その他の資産	112,770	52,045
資産合計	1,823,217	2,286,163

(単位:千円)

科目	2011年3月期 (2011年3月31日現在)	2010年3月期 (2010年3月31日現在)
〈負債の部〉		
流動負債	280,998	286,543
買掛金	25,216	98,557
未払金	128,583	78,913
未払費用	52,041	27,749
前受金	31,972	55,247
その他	43,184	26,074
固定負債	17,331	—
繰延税金負債	4,792	—
資産除去債務	12,538	—
負債合計	298,329	286,543
〈純資産の部〉		
株主資本	1,521,467	1,995,825
資本金	591,321	591,321
資本剰余金	895,884	895,884
利益剰余金	55,127	508,619
自己株式	△20,865	—
新株予約権	3,419	3,793
純資産合計	1,524,887	1,999,619
負債純資産合計	1,823,217	2,286,163

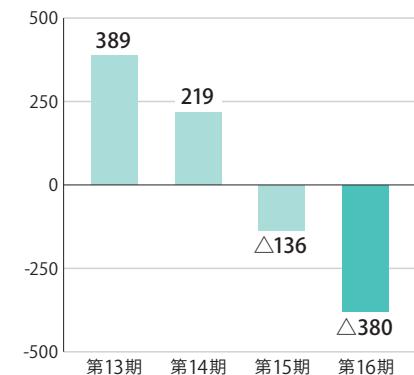
◆ 売上高

(百万円)



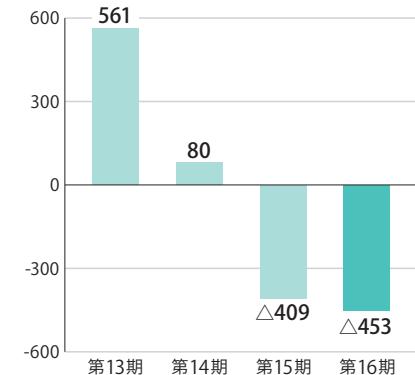
◆ 経常利益(△は損失)

(百万円)



◆ 当期純利益(△は純損失)

(百万円)



◆ 損益計算書(要約)

(単位:千円)

科目	2011年3月期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)	2010年3月期 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)
売上高	1,629,204	2,173,995
売上原価	749,138	1,436,320
売上総利益	880,065	737,674
販売費及び一般管理費	1,264,025	878,072
営業損失(△)	△383,959	△140,397
営業外収益	3,272	4,035
営業外費用	212	—
経常損失(△)	△380,900	△136,361
特別利益	2,409	11
特別損失①	66,726	201,978
税引前当期純損失(△)	△445,216	△338,328
法人税、住民税及び事業税	3,483	3,800
法人税等調整額	4,792	67,637
法人税等合計	8,275	71,437
当期純損失(△)	△453,492	△409,765

特別損失①……………主な内訳は、費用削減を目的に実施した早期退職者募集に係る費用や本社移転に係る費用などによるものです。
 投資活動によるキャッシュ・フロー②…投資活動により得られた資金は、318百万円(前期は169百万円の支出)となりました。これは、定期預金の払い戻しによる収入による資金の増加と、自社利用ソフトウェア開発等による支出などによる資金の減少との差し引きによるものです。

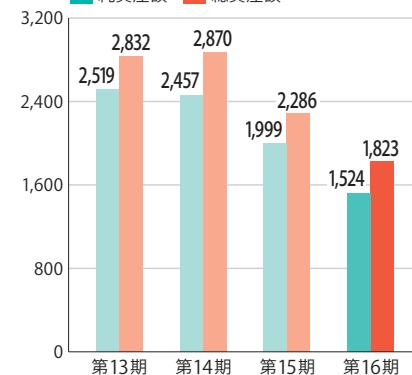
◆ キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

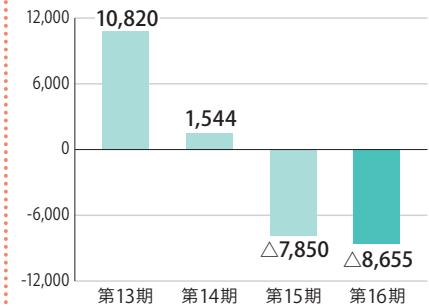
科目	2011年3月期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)	2010年3月期 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△198,530	△69,479
投資活動による キャッシュ・フロー②	318,284	△169,052
財務活動による キャッシュ・フロー	△21,394	△48,681
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	98,358	△287,213
現金及び現金同等物の 期首残高	402,521	689,735
現金及び現金同等物の 期末残高	500,880	402,521

◆ 純資産額・総資産額

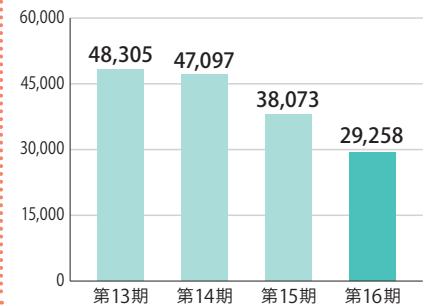
(百万円)



◆ 1株当たり当期純利益(△は純損失) (円)



◆ 1株当たり純資産額 (円)



■ 詳細は当社ホームページへ

ケアネット IR

検索

◆ 会社概要 (2011年3月31日現在)

- 社 名 株式会社ケアネット
- 所 在 地 東京都千代田区九段南1-5-6 リそな九段ビル
- 設 立 1996年7月
- 従業員数 67名
※上記従業員のほかに、臨時従業員(1日8時間勤務換算)24名が従事しております。
- 事業内容
 - 製薬企業向けの医薬営業支援サービス、マーケティング調査サービス
 - 医師・医療従事者向けの医療コンテンツサービス

◆ 役 員 (2011年6月23日現在)

- 代表取締役社長 大野 元泰
- 取 締 役 秦 充洋
- 取 締 役 鹿 剛
- 取 締 役 諸橋 吉郎
- 取 締 役 菅野 寛
- 監 査 役 佐藤 敬幸
- 監 査 役 浦野 雄三
- 監 査 役 藤原 啓三

※取締役 菅野 寛は社外取締役です。
※監査役 浦野 雄三、藤原 啓三の両氏は社外監査役です。

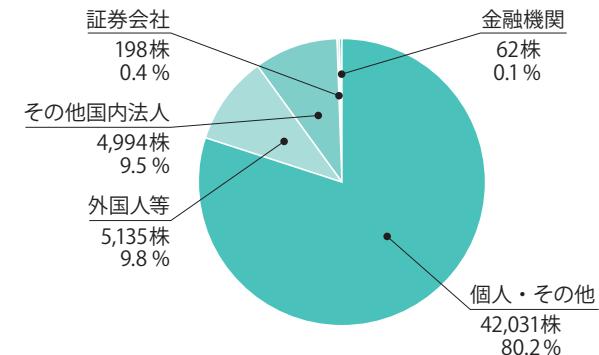
◆ 沿革

- 1996年 7月 東京都中央区日本橋蛸殻町に、医療情報提供サービスを目的として株式会社ケアネットを設立。
- 1998年 4月 郵政省(現総務省)より委託放送業務の認定を受ける。
- 7月 SKY PerfecTV!にて「ケアネットTV・メディカルCh.®」を開局。
- 2000年 4月 医師・医療従事者向け会員制サイト「club C@reNet(クラブ・ケアネット)」をインターネット上に開設。
- 10月 インターネットによるマーケティング調査「eリサーチ™」サービス開始。
- 12月 医師会員数が1万人を超える。
- 2001年 8月 本社を東京都文京区本郷に移転。
- 11月 インターネットによる医薬営業支援システム「eディテリング®」サービス開始。
- 2004年 7月 医師・医療従事者向け会員制サイト「club C@reNet」をリニューアルし、「CareNet.com(ケアネット・ドットコム)」をインターネット上に開設。
「ケアネットTV・メディカルCh.®」の人気番組をDVD化した「ケアネットDVD」の販売開始。
- 2005年 3月 財団法人日本情報処理開発協会より“プライバシーマーク”の付与認定を受ける。
- 5月 医師会員数が5万人を超える。
- 2006年 4月 「ケアネットDVD」販売数累計5万枚突破。
- 2007年 4月 東京証券取引所マザーズに上場。
- 5月 「ケアネットDVD」販売数累計10万枚突破。
- 2009年 2月 株式会社葦の会との業務提携を発表。
ケアネット・イノベーション投資事業有限責任組合との資本提携を発表。
- 3月 「eディテリング®」の情報制御機能「MRPlus®ナビゲーション・ボード」に関して国内特許を取得。
- 12月 「ケアネットDVD」販売数累計20万枚突破。
- 2010年 1月 医療情報提供サービス「eディテリング®」に関して国内特許を取得。
- 12月 医師会員数が10万人を超える。
- 2011年 6月 本社を東京都千代田区九段南に移転。

◆ 株式の状況

- 発行可能株式総数 200,000株
- 発行済株式の総数 52,420株
- 株 主 数 2,178名

◆ 所有者別株式分布状況



◆ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ケアネット・イノベーション投資事業有限責任組合	20,785	39.97
ジャパン ビートウービー エル エル シ ー	4,800	9.23
株式会社キャリアブレイン	2,580	4.96
大 野 元 泰	1,224	2.35
京 セ ラ 株 式 会 社	1,115	2.14
詫 摩 直 也	861	1.65
藤 井 寛 治	746	1.43
KAWANISHI TORU	720	1.38
秦 充 洋	650	1.24
武 藤 克 人	500	0.96

(注) 持株比率は自己株式(419株)を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 3月31日
- 期末配当の基準日 3月31日
- 1単元の株式数 1株

- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711(フリーダイヤル)

- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ(<http://www.carenet.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。

- 証券コード 2150
- 証券取引所 東証マザーズ